

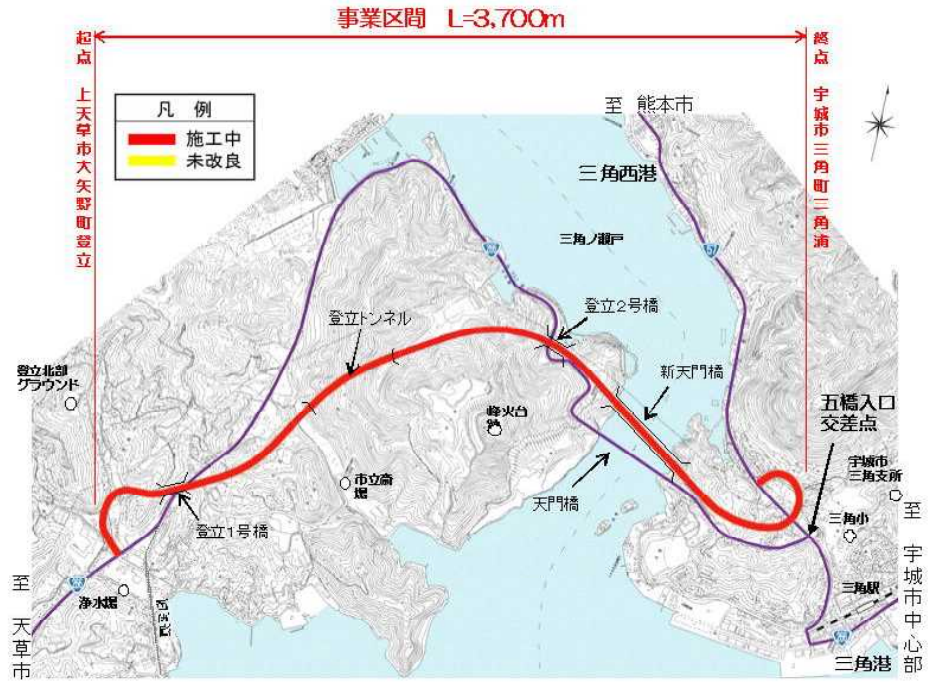
再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	地域高規格道路 熊本天草幹線道路 一般国道266号 大矢野バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	自：熊本県上天草市大矢野町登立 至：熊本県宇城市三角町三角浦			延長	3.7 km	
事業概要	国道266号大矢野バイパスは、地域高規格道路である熊本天草幹線道路の一部を担う延長3.7kmの道路であり、熊本都市圏と天草地域の交流・連携強化、交通混雑の緩和、防災性の向上等を目的としたバイパス事業である。					
H18年度事業化	都市計画決定 無し		H19年度用地着手	H19年度工事着手		
全体事業費	約184億円	事業進捗率	約93%	供用済延長	— km	
計画交通量	12,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 15	総費用 (残事業)/(事業全体) 15/196億円 (事業費：11/192億円) (維持管理費：4.3/4.3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 221/221億円 (走行時間短縮便益：164/164億円) (走行経費減少便益：40/40億円) (交通事故減少便益：17/17億円)	基準年	平成28年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=1.0~1.2(交通量 ±10%) 残事業 交通量：B/C=13~16(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.0~1.2(事業費 ±10%) 事業費：B/C=13~16(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.0~1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=15~15(事業期間±20%)					
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 ②物流効率化の支援 ③国土・地域ネットワークの構築 ④個性ある地域の形成 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ⑥災害への備え ⑦地球環境の保全 ⑧生活環境の改善・保全					
関係する地方公共団体等の意見	沿線市町による熊本・天草間幹線道路整備促進期成会等からは毎年要望書が提出されており、依然として整備に対する要望は高い状況にある。					
事業評価監視委員会の意見	本事業は、熊本都市圏と天草地域との交流・連携を強化することにより、第1次緊急輸送道路の機能を拡充し、天草地域住民の安全・安心な暮らしに資するものである。また、天草地域の産業・経済・観光における重要な役割を担っている。このことから、今回の再評価における対応方針「継続」は妥当である。 なお、橋梁やトンネルなど主たる工事が予定どおり進行している。今後も周辺の自然環境に配慮しながら、コスト縮減に努め、事業の早期完了を図ること。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	当該事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率100%、事業進捗率約93%（平成28年3月末時点）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	H28熊本地震の影響で一時的に工事休止があったものの、順調に事業が進んでいる。					
施設の構造や工法の変更等	新天門橋について「新天門橋技術検討委員会」にて橋種等の比較検討を行いコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。